

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ブットイン			
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内の環境に関しては高い評価を得ている	遊びスペースと勉強スペースを分けている。活動内容に合わせてスペースを分けたり利用者が集中できるような空間作りを行っている。	「わからない」との回答があることを考慮し、環境や配慮の情報公開をしていく。
2	支援内容の評価を得ている。 利用者の満足がられている。	全体活動では利用者個々の支援内容を考慮し、遊びながらも「考える」「他者と協力する」「他者と相談する」「意見を伝える」「発言する」などの要素を取り入れたゲームなどを行う工夫をしている。またその全体活動内容を定期的に社員がミーティングを行い支援目的に沿うよう具体的な内容やルールを相談している。	アルバイトを含むすべての職員に活動内容の目的と理解を明確にしていける必要がある。利用者に対しては意欲的に活動に参加したいと思うような工夫をしていく。
3	保護者への説明や交流。	利用者の様子は保護者に伝わるよう連絡帳やSNSを利用してメッセージや写真、動画を提供している。定期的に保護者とのお話を開催し、事業所内での様子や家庭での様子の情報交換を行っている。	支援内容に評価を得てい一方「どちらともいえない」「わからない」との回答があることを考慮し、支援の為の活動内容や目的を知ってもらうための情報公開をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	プログラム活動がわかりにくい	情報公開が不十分	全体活動内容や目的をもっと説明するために、保護者への日々の報告には活動内容やその目的をも明確に伝える必要がある。またSNSを利用して情報公開を行い理解を深めてもらう工夫が必要
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会がわかりにくい	定期的に保護者とのお話を開催しているが、全ての保護者とスケジュールが合わないなどの問題がある	家族との情報共有できる機会や時間の確保を増やす
3			